

令和5年度 学力向上指導改善プラン

学校教育目標		夢に向かって堂々と歩む子の育成 ～人とつながり 笑顔あふれる <b>心ばかばかな</b> けやきっ子～	
推進主体		管理職と主幹教諭、学年・教務主任による学校教育改革推進委員会を設置し、以下の改善プランを策定	
学力に関する前年度の課題・経年の課題			
学力の状況	これまでの全国学力・学習状況調査結果の状況(教科に関する質問紙調査の結果も含む)	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆去年度は、「目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見分ける設問」と「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する設問」に課題がみられたが、改善している。</li> <li>○低学年から引き続き、伝える場の設定がある学習を仕組んで、表現力をつけていく。また、国語辞典や漢字辞典を日常的に使って語彙力を育む。</li> <li>○必要に応じて適切な本を選び、豊かな読書活動を行うことで、内容をとらえる力を伸ばし、自分の考えを広めたり、深めたりできるようにしていく。</li> <li>○文章の内容を正しく理解する力とともに必要な情報を抜き出す力が身に付きつつある。どの子も分かる授業となるように、「言語活動」などを工夫して取り組むことが大切である。</li> </ul>
		算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「変化と関係」日常生活の場面に即して、数量が変わっても割合が変わらない事を理解することに課題がみられる。</li> <li>◆「数と計算」数の大きさを見積もる時に、目的に応じて考える事に課題がみられる。</li> <li>◆「図形」プログラムの指示に従って、図形を作図する力に課題がみられる。</li> <li>○四則計算だけでなく、割合の意味や図形の意味や性質など、算数用語を理解する基礎力もつける。</li> <li>○知識にとらわれすぎずに、目的に応じて文章を読み取ったり、活用したりする力を育てる。</li> <li>○図形に関しては名称や性質を暗記するだけでなく、操作活動を通して、空間を認知する力を鍛える。</li> <li>○プログラミングでは、双方向の力を鍛えることを意識して指導する。</li> </ul>
		ICT機器を効果的に活用した取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ICTを活用した学習状況の改善が必要である。</li> <li>5年までに受けた授業で、ICT機器を週1回以上使用していると回答している児童の割合は、72.9%である。これは、全国平均より10.3%、兵庫県平均より7%下回っている。</li> <li>○ICTを活用した学習状況を改善するために、各教科でのICT活用場面や方法を各学年の情報教育担当者を中心に再検討する。</li> </ul>
		単元・学期末テストなどによる状況(各教科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆算数科においては、基本の計算力が身につけている児童が多いが、文章題での活用や記述に課題のある児童もみられる。</li> <li>◆文章題から読み取ったことを適切な言葉で表現することや要約することが難しい児童がいる。</li> <li>◆国語のテスト以外では、漢字を活用できていない児童がいる。</li> <li>◆基本的な計算に時間のかかる児童や計算のケアレスミスのある児童が見られる。</li> </ul>
授業等からうかがえる状況(各教科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆文章を書く(ふりかえりの記述を含む)ことに時間のかかる児童がいる。</li> <li>◆発表時に必要な声の出し方・姿勢が身につけていない児童がいる。</li> <li>◆入学時にひらがなの読める子・読めない子、数の概念が入っている子・入っていない子の差が大きい。</li> <li>◆最後まで話の聞けない児童がいる。</li> <li>◆線分図や関係図等が書けるが答えと図が一致しない児童がいる。</li> <li>◆家庭学習の定着が難しい児童がいる。</li> <li>◆学習に必要な持ち物が揃わない児童がいる。</li> </ul>		
学力生活向上に慣れる等の学習習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自己有用感を高める取り組みが必要である。</li> <li>「自分にはよいところがあると思いますか」の質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合が72.9%である。この割合は、全国平均より6.4%、兵庫県平均より5.3%下回っている。</li> <li>◆「あいさつ」「そうじ」「持ち物への記名」「履き物をそろえる」「廊下の右側を静かに歩く」「下駄箱の使い方」を重点的に継続指導する。</li> <li>◆「読書」は本校の課題の一つとして取り組んでいる。</li> </ul>		
校内研究・研修の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学びに向かう力を育てる～子どもたちが主体的に考え、つなぎ、高め合う授業をめざして～」をテーマに算数科の研究に取り組んでいる。</li> <li>◆よりよい授業づくりのための事前・事後研修を工夫する。</li> </ul>		
家庭・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゲストティーチャーや学校支援ボランティアの協力を得て、学習の成果をあげている。今後も、より効果的な学習活動を工夫し、更なる人材の確保に努めたい。</li> <li>○令和2年度より、地域コーディネーター2名に協力頂き、ボランティア連絡会を持ち連携を図っている。</li> <li>○ボランティア通信を発行し、ボランティアの活動について、家庭へ周知している。</li> <li>○年間を通して継続的な保・幼・小・中・高の交流を計画的に実施している。</li> <li>○けやき台中学校区青少年健全育成連携連絡会を定期開催し、児童・生徒の情報交換や授業参観等を行っている。</li> </ul>		
		4月	2～3月
		成果となる目標	具体的な行動目標
		(指標となる数値等)	(成果目標達成のための具体的な手立て等)
		年度末評価	
		(今年度の成果と来年度に向けた課題等)	
		評価	
○豊かな心の育成を図る	○学校評価アンケート(職員・保護者)の「児童の実態」の項目や子どもアンケートの「自分から進んで明るくあいさつをしている」・言葉使いに気をつけて、友だちと仲良くしている」の項目で9割以上の肯定評価をめざす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校いじめ防止基本方針」にもとづき、いじめ・不登校の未然防止、早期発見・解決のための取り組みを行う</li> <li>・けやき台中生徒会作成いじめ防止啓発カレンダーを校内に掲示する</li> <li>・情報モラル教育講演会を実施し、人権に配慮した正しいコミュニケーション方法を学ぶ機会を設定する</li> <li>・学期はじめに「あいさつ運動」(教師・児童会)を実施し、めざす児童像の「人とつながる子」をめざす</li> <li>・学校外の教育力(ゲストティーチャー)を活用し、多様な考え方や生き方・表現等にふれさせる場を設定する</li> <li>・道徳教科書「あかつき」の他「こころはばたく」「心きらめく」「心ときめく」等を活用して、道徳教育・人権教育の充実を図る</li> <li>・人権参観(ハートフル参観)を実施する</li> <li>・人権標語(ハートフル標語)を考える機会を設定する</li> <li>・特別活動委員会を中心に、学級会・児童会を充実させる</li> </ul>	
○本に親しむ子の育成を図る	○学校評価アンケート(職員)の「児童は、本に親しみ、自ら進んで読書し、読書を楽しんでいる」の項目で9割以上の肯定評価をめざす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月23日を「家族読書の日」とし、学校だよりや図書館だよりで家族読書の啓発を行う</li> <li>・学校司書と連携し、学校図書館と学年文庫の運営を工夫する</li> <li>・学校司書と図書ボランティア(かたつむり)による読み聞かせを継続する</li> <li>・読書週間を設定する</li> <li>・ブックフレンド(図書)委員会の活動を支援する</li> </ul>	
○基礎・基本の定着を図り、学習意欲を高める	○子どもアンケートの「学校の勉強がわかる」の項目で9割以上の肯定評価をめざす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の学習タイムを継続する(算数)</li> <li>・各学年児童の実態を考慮した、学力向上に向けての取り組みを工夫する。</li> <li>・放課後学習日や夏休み休業期間等に学力保障(個別指導)を行う</li> <li>・「がんばりタイム」を継続実施する</li> </ul>	
○思考力の育成を図る	○学校評価アンケート(職員)の学校運営「研究」の項目で研究の成果を問い、9割以上の肯定評価をめざす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究テーマ「学びに向かう力を育てる」に沿った授業づくりを行い、思考力の育成をめざす</li> <li>・授業研究を行い、全職員で授業力向上に努める</li> <li>・1月に算数科研究発表会を実施する</li> <li>・算数専科(5・6年)と担任が連携し、児童理解と指導を行う</li> <li>・全国学力・学習状況調査結果を踏まえて、授業改善を行う</li> </ul>	
○すこやかな体づくりをめざす	○子どもアンケートの「休み時間や体育の時間に進んで運動したり、体を動かそうとしたりしている」の項目で運動・遊びができていくかを確認する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな運動遊びができるよう環境整備を行う</li> <li>・スポーツ(体育)委員会の活動を支援する</li> <li>・栄養教諭と連携し、食育を計画的に行う</li> </ul>	
○生活習慣の確立をめざす	○学校評価アンケート(職員)の「生活」の項目や子どもアンケートの「掃除に一生懸命取り組んでいる」の項目で掃除ができていくかを確認する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めざす児童像」を学校だよりや学級集会などで提示し、家庭での協力を求める</li> <li>・校内に「学校教育目標(けやきのA(エース)をめざせ!)」や「めざす児童像(人とつながり笑顔あふれる心ばかばかなけやきっ子)の具体を示す合い言葉「あかるくあいさつ」「あきらめず挑戦」「あつたかことば」「もくそうじ」「響き合う歌声」を掲示し、全校生が意識できるようにする</li> <li>・掃除が積極的にできるように、掃除用具の点検や指導の工夫をする</li> <li>・学校ビカビカ(美化)委員会の活動を支援する</li> </ul>	
○保・幼・小・中・高の連携を図る	○学校評価アンケート(職員)の「保・幼・小・中連携体制を確立し、学びの連続性を踏まえた指導を行っている」の項目で9割以上の肯定評価をめざす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウッドイ・カルチャー・タウン青少年協連協議会を定期開催し、児童・生徒理解を深める</li> <li>・学校・園だよりの交流を行う</li> <li>・児童の様子について「文書」「口頭」「園所・学校体制」による引き継ぎを行う</li> <li>・年間を通して継続的な保・幼・小・中・高交流を計画的に行う</li> <li>・けやき台幼稚園と若草幼稚園との交流を継続する</li> <li>・5年生と入学予定園児との交流を継続する</li> <li>・けやき台中学校生徒の「トライやる」の受け入れを継続する</li> <li>・三田西陵高校生徒の「こども未来類型小学校実習」の受け入れを継続する</li> <li>・けやき台幼稚園(年長)の出前授業(音楽科)を継続する</li> </ul>	
○家庭・地域との連携を図る	○学校評価アンケート(職員)「保護者・地域・学校支援ボランティア等と連携して、協働の開かれた学校づくりに努めている」の項目で9割以上の肯定評価をめざす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会を年間を通して計画的に開催する</li> <li>・学校だよりを地域に回覧できるよう配布する</li> <li>・年1回児童・保護者アンケートを実施する。その結果を考察して、家庭に知らせ、成果と課題を共有する</li> <li>・学校だよりやホームページ等で学校の様子を発信する</li> <li>・学校支援ボランティアと連携した授業の工夫を行う</li> </ul>	